

[No. 18] 前進4段のロックアップ機構付き電子制御式ATのフェイルセーフ機能に関する記述として、
適切なものは次のうちどれか。

- (1) 1レンジから2レンジへシフトしたときに、2レンジ信号が断線していた場合、AT・ECUに入力していた1レンジ信号をセレクト位置信号とみなすが、実際の変速は、マニュアル・バルブを経由する油圧がシフト・ソレノイド・バルブで規制されるため3速固定となる。
- (2) Dレンジ信号と2レンジ信号が同時にAT・ECUに入力した場合、Dレンジ信号が優先されるため、4速（オーバドライブ）までの変速が可能である。
- (3) 走行中、車速センサ1と車速センサ2の2系統ともに異常が発生した場合、AT・ECUはD及び2レンジでは3速固定に、1レンジでは2速固定に制御する。
- (4) 油温センサが断線すると、AT・ECUはライン・プレッシャ・ソレノイド・バルブをONにするためライン・プレッシャは常時最小となり、4速（オーバドライブ）への変速も禁止する。

答（3）

- (1) 3速固定ではなく2₁となる。
- (2) 4速への変速はせず、1⇔2⇔3となる。
- (4) 油温センサが断線すると抵抗は無窮大になり、極低温と見なされるのでライン・プレッシャは常時最大となる。